

2009年10月

サウジアラビアの研究大学院プログラムへの参加について

住友化学は、サウジアラビアの紅海沿岸のスワルに開校する大学院「King Abdullah University of Science and Technology」(以下、KAUST)が推進する産業連携プログラム「KAUST Industrial Collaboration Program」(以下、KICP)に参加することといたしました。

KAUSTは、応用数学・計算科学、バイオサイエンス、化学・生物工学など9の分野において、グローバルな大学や研究機関とのネットワークを基盤に、最新の研究設備・活動プログラムを提供し、サウジアラビアひいては国際社会へ貢献する次世代技術の創出、人材育成を図ることを目的に設立されました。KICPは、他大学、企業、研究機関との幅広い連携を通じて、触媒、幾何学モデル・コンピューターバイオサイエンスなどのテーマに関する研究成果の事業化を促進するためのプログラムです。

住友化学は今後、KAUSTの産業諮問委員会のメンバーとして、KICPの運営、KAUSTへの助言・提案などに携わるとともに、KAUSTが世界の先端的な研究機関と推進している共同研究プログラムへの参加を始めとした、ネットワーク構築の機会を得ることになります。

住友化学は、サウジアラビアン・オイル・カンパニー(サウジ・アラムコ)と、紅海沿岸のラービグにおいて世界最大級の石油精製・石油化学統合コンプレックスを建設し、既に稼働を開始させたところです。一方、研究開発については、広範囲な研究活動を通じて培ってきた多様な「基盤技術」と、さまざまな製品開発を通じて得た「コア技術」をベースに組み合わせる「創造的ハイブリッド・ケミストリー」を推進し、近年は、大学・他企業・研究機関などとの融合も積極的に行っております。今回のKICPへの参加は、サウジアラビアとの関係強化に資するとともに、住友化学の「創造的ハイブリッド・ケミストリー」を一層加速するものと期待しています。

以 上